

第4次中期事業計画

令和6年度～令和10年度

A decorative graphic consisting of a white rectangular area tilted slightly. It features a series of colorful dots (pink, blue, green, yellow, orange, purple) arranged in a curved path along the top and bottom edges. Several stylized birds in various colors (blue, dark blue, green, pink, yellow) are scattered within the white area, some appearing to fly towards the right.

明るい未来へ！

地域社会とともに！

公益社団法人桐生市シルバー人材センター

はじめに



公益社団法人桐生市シルバー人材センター
理事長 萩原 健次郎

公益社団法人桐生市シルバー人材センターは、昭和59年6月29日の設立以来40年を迎えます。

その間、平成17年6月13日に新里村・黒保根村の各ミニシルバーと統合、平成24年4月1日には公益社団法人へ移行し、平成26年度からは派遣事業に取り組むなど、順調に事業展開を行ってまいりました。

しかし令和にはいり、新型コロナウイルス感染拡大による社会経済活動の停滞は当センター事業にも大きな影響を及ぼしました。

そのような危機感あふれる中においても、会員の皆様の逞しい活力と笑顔に励まされ、一致団結し無事乗り越えることができました。

桐生市における高齢化率は依然高推移をたどるなか、定年延長等によりシルバー人材センターへの入会年齢は引き上がる傾向にあります。生産年齢人口の減少により、働く意欲のある高齢者がより一層求められるなか、就業機会の確保と共に就業会員の確保も課題となっております。

このような現状を踏まえ、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、会員の高齢化対応・後継者の育成・安全就業の推進・女性会員の増加等に取り組み、さらにICT化やSDGs、インボイス制度への対応を行い、お客さま・会員相互に愛され、地域社会に開かれたセンターとしてさらに発展していくため、ここに令和6年4月から5年間の第4次中期事業計画を策定いたしました。

今後も桐生市をはじめとする関係各位のご理解とご指導のもと、会員の皆様のご協力をいただきながら、役職員一丸となって事業推進してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

目 次

		頁
I	計画の概要	1
II	基本的課題	1
III	計画の期間	1
IV	計画の目標	2
V.	施 策	
	(1) 就業を希望する高齢者の積極的な受け入れ	2
	(2) 就業機会の確保並びに公平な就業機会の提供	4
	(3) 高齢者が健康で楽しく社会参加するための支援	8
	(4) 魅力あるセンター運営	9

公益社団法人桐生市シルバー人材センター

第4次中期事業計画

I 計画の概要

ますます加速する高齢化社会において、2025年には団塊の世代がすべて75歳以上の後期高齢者に到達し、働き手不足や医療・生活支援等様々な問題が予想されるなか、高齢者が住み慣れた地域で生き生きと生活していくため、高齢者のニーズに応じた多様な選択肢が求められます。

そのなかで就業を希望する高齢者、更にセンター活動において社会参加を希望する高齢者の受け皿として、シルバー人材センターの役割を再認識し、変遷する時代に即応した事業展開を促進し、もって地域貢献していくことがますます重要となっております。

現状の課題を分析し解決に向けた施策を進め、地域社会に開かれたセンターとして発展していくため、引き続き基本的課題に沿った第4次中期事業計画を策定します。

II 基本的課題

- (1) 就業を希望する高齢者の積極的な受け入れ
- (2) 就業機会の確保並びに公平な就業機会の提供
- (3) 高齢者が健康で楽しく社会参加するための支援
- (4) 魅力あるセンター運営

III 計画の期間

令和6年度から令和10年度までの5年間とし、状況に応じて見直しを行うものとします。

IV 計画の目標

5年間の目標数値を次のとおり設定します。

	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
会 員 数 (人)	470	480	490	500	510
契 約 金 額 (千円)	241,000	246,000	251,000	256,000	261,000
就業延べ人員 (人日)	50,000	51,000	52,500	54,500	56,500

V. 施 策

(1) 就業を希望する高齢者の積極的な受け入れ

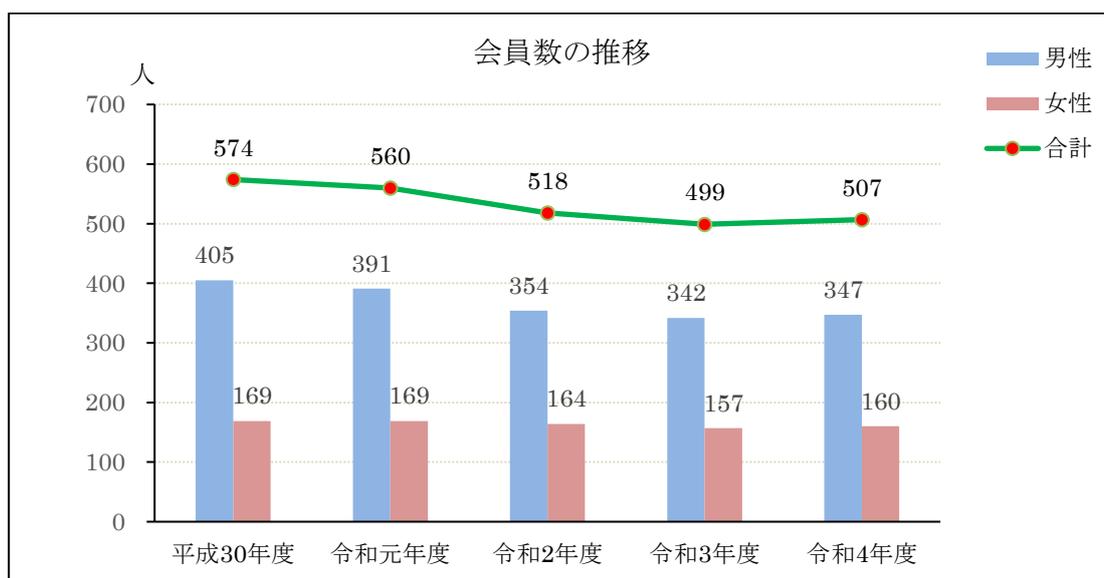
【現状と課題】

桐生市における65歳以上の高齢化率は、令和5年4月1日現在で36.89%と高推移をたどる一方、60歳以上人口に占めるセンター会員数の割合である粗入会率は、令和4年度末で1.1%（男性1.7%、女性0.6%）と、群馬県平均1.3%（男性1.9%、女性0.7%）、全国平均1.6%（男性2.4%、女性1.0%）に比較して低い水準です。

また女性の入会率は依然低く、高齢者福祉施設等の需要に十分対応できない状況が続いており、女性会員の確保並びに就業継続も課題となっております。

更に、定年の引き上げや雇用継続制度等により、センターへの入会年齢が高くなるとともに会員の高齢化が進み、会員数の減少傾向が続いており、会員増と共に高齢化に対応した就業も必要となります。

センターとしては、シルバー人材センターで働くことのメリットを十分に周知し、地域社会の担い手の一翼として地域ニーズに迅速に対応できるよう会員を確保することが重要な課題となっております。



【施 策】

1. 会員の増強

① 入会促進

- ア 入会説明会及び入会受付を本部、新里・黒保根各支所において開催し、入会希望者の利便性を促進します。
- イ 入会説明会において、実際の就業動画や役員等による就業談話を行い、安心して入会できる体制を整えます。
- ウ 具体的な就業先及び受注内容の説明を行い、各業務担当者との面談を速やかに行うことにより、入会を促します。
- エ 入会説明会日程の柔軟な対応を行い、入会希望者の確保に努めます。
- オ 女性の入会促進を図るため、女性対象の入会説明会の開催を進めます。

- カ 会員の口コミによる入会促進を促すため、友達紹介キャンペーンを実施し、新規会員紹介奨励制度を検討します。
- キ イベント等におけるチラシ配布や、桐生市広報また地元新聞への記事掲載等により入会促進のPRを行います。
- ク ハローワークや地域の関係団体・企業と連携を深め、会員拡大を進めます。
- ケ Web 入会を進め、会員増を図ります。
- コ 仕事の様子やセンター活動の動画撮影及び公開を進め、入会促進につなげます。
- サ 就業体験や市民対象の各種講習会を開催し、センターPR並びに入会者増を図ります。

② 会員の定着

- ア 未就業会員への積極的な声掛けを行い、ワークシェアリングやローテーション就業等による就業機会の公平な提供を進め、会員の定着を図ります。
- イ 未就業会員の状況把握の共有化を進め、就業紹介につなげていきます。
- ウ 高齢等により就業が困難となった会員が、引き続き会員として行事等に参加できる体制づくりを行います。

(2) 就業機会の確保並びに公平な就業機会の提供

【現状と課題】

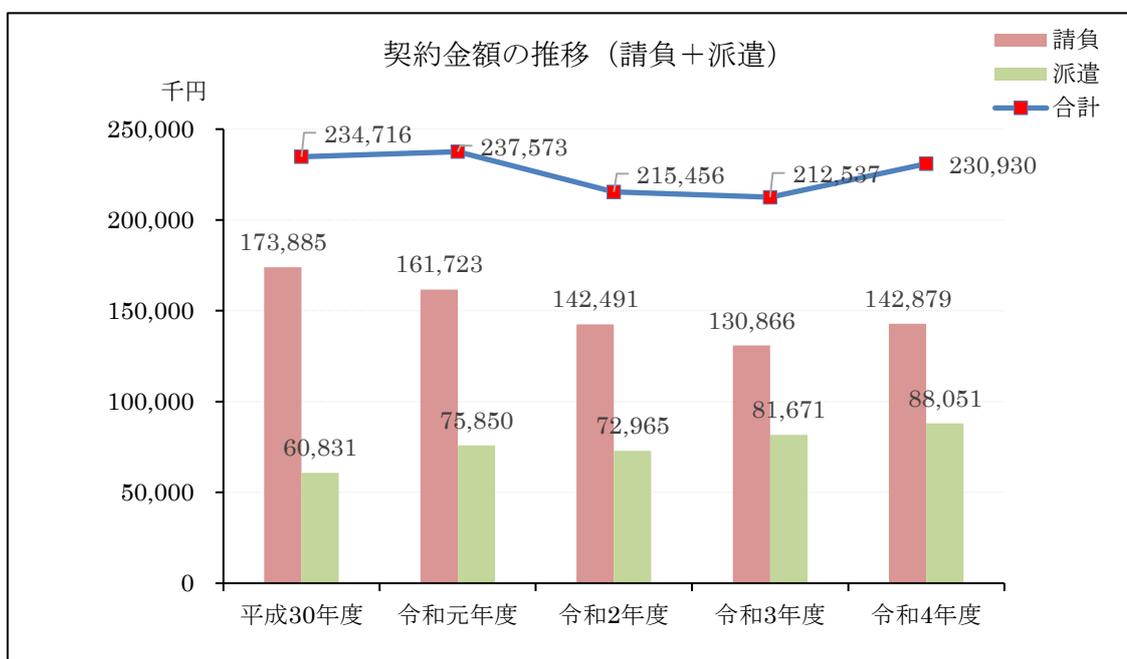
当センターの請負事業・派遣事業をあわせた契約額は令和4年度末で2億3千万円を超え、コロナ以前に回復しつつあります。

しかし、請負事業においては特に夏場の需要が多い除草や草刈り作業などの就業会員不足に加え熱中症対策もあり、受注できない場合や作業開始まで時間がかかる状況が続いております。また植木作業や襖張りなどの技能群では後継者不足も課題となっております。

派遣事業においても、特に需要が増している高齢者福祉施設への就業会員確保と定着が課題となっております。

就業会員が不足している一方、就業率は約80%前後で推移しており、未就業会員の解消に向けた対策が必要です。不足している職群への就業紹介や新規受注の拡大と共に、ワークシェアリングやローテーション就業を進めていかななくてはなりません。

お客様の依頼内容と会員の就業希望がマッチングしないケースも見受けられ、顧客ニーズに対応できる会員の確保も課題となっております。



【施 策】

1. 就業機会の拡大

① PR活動の強化

ア 企業訪問を行い、センターPR並びに就業拡大につなげます。

イ イベント等におけるチラシ配布や、新聞記事掲載等により受注拡大にむけたPR活動を行います。

ウ ホームページの充実を進め、シルバー事業の情報発信を図ります。

エ Web 受注を進め、受注増を図ります。

② 顧客満足度アップ

ア 実技研修の実施

植木作業や刈払機作業、障子・襖・網戸張りのほか、清掃、福祉関係、駐車場整理等の講習会を実施し、会員資質の向上並びに後継者育成を図ります。

イ 接遇研修の実施

会員全体研修の検討並びに各職群等において定期的に接遇研修を実施し、安心と信頼のお客様対応を進めます。

ウ 就業待ち日数の短縮

会員の増強や後継者育成等により、受注から就業開始日までの短縮を図ります。

エ 顧客との連絡の強化

混雑期間の受注に対する作業予定の状況連絡を行い、受注取り消しの減少を図ります。

③ 桐生市との連携に向けた新たな取組

ア 空き家管理対策事業の活用

桐生市との協定による空き家管理を「ふるさと納税返礼品」として登録し、新たな活用に取り組みます。

イ 子どもの学習支援事業

生活保護世帯の児童生徒の希望者を対象に、教員の指導経験豊かな会員が講師となり、学習支援に取り組みます。

ウ 桐生市電子地域通貨との連携

シルバー人材センターで仕事またはイベントや講座に参加した場合、「だれでもポイント」によるポイント付与を検討します。

また、会員の友達紹介奨励として「桐ペイ（きりぺい）」の

活用を検討します。

④ センター独自事業の充実

ア シルバーさぽーと隊事業

桐生市との連携による「シルバーさぽーと隊」の充実を図り、地域社会の支えあいを進めていきます。

イ 手づくり工芸品販売事業

製品づくりの講習会開催等により品質向上を高め、就業会員の増加並びに販路の拡大に向けた検討を行います。

ウ 新規事業の検討

地域社会並びに会員の要望・状況等を精査し、新たな事業を検討していきます。

⑤ シルバー派遣事業の推進

ア 地域ニーズに迅速に対応できるよう、就業会員の確保に努めるとともに、関係法令等を遵守し、群馬県シルバー人材センター連合会と連携を保ちながら高齢者の就業として安全適正な事業推進を行います。

イ 企業訪問等により、定年や雇用契約終了となる社員について、シルバーの派遣会員として引き続き同じ職場で働ける選択肢のPRを進めます。

ウ 労働者派遣法、労働基準法等関係諸法規に対する職員勉強会を実施しスキルアップを図るとともに、就業会員のフォローアップに努めます。

2. 公平な就業機会の提供

適正就業基準に基づきワークシェアリングやローテーション就業を進め、公平な就業機会の提供により就業率の向上を図ります。

(3) 高齢者が健康で楽しく社会参加するための支援

【現状と課題】

高齢者が住み慣れた地域で元気に社会参加していくためには、近年の気候変動による体調管理を行いつつ、自己の体力を認識して活動していくことが必要です。

就業に際しては安全就業していくための注意喚起を行っていかなくてはなりません。

最近では蜂刺されや熱中症、体力低下によるとみられる就業中の転倒やつまずきによる事故が増加傾向にあります。さらに高齢化傾向の会員に対する安全就業の徹底も進めていかなければなりません。

高齢者の社会参加には地域とのつながりが大切です。公益法人として地域に信頼されるセンターとして発展していくため、地域貢献活動や地域交流の機会を増やしていくことも大切です。

【施 策】

1. 安全適正就業の推進

① 安全巡回パトロールの実施

安全・適正就業委員会による安全巡回パトロールを毎月実施し、注意喚起を促すと共に安全就業の徹底を図ります。

② 衛生委員会を設置し、会員の安全就業を進めます。

③ チェックシートの活用推進

植木・草刈等の作業時におけるチェックシートの活用により、安全就業に対する意識の向上を図ります。

④ 安全講習会の実施

ア 刈払機取扱講習会の実施

石飛による事故防止等に向けた講習会を実施します。

また、作業時の安全確保や知識・技能を習得するための安

全衛生教育講習会を行います。

イ 植木作業における安全就業講習会の実施

⑤ 交通安全の推進

就業先への往復における事故防止や就業中の車の運転による事故防止に向けて、声掛け等により常に注意喚起を促します。

⑥ 安全標語の活用

安全適正就業委員による安全標語の募集並びに活用を進め、全会員の安全意識の向上を図ります。

2. 健康管理

① 健康講習会の実施

桐生市健康づくり課や介護福祉士等の専門職による講話や体操等による講習会を実施します。

② 健康診断受診の促進

桐生市の「新わたらせ健康診査」等の健康診断受診を勧め、自己の健康管理を促します。

3. 地域貢献

① シルバーの日清掃ボランティアの実施

毎年10月のシルバー普及啓発促進月間において、各地区における清掃ボランティア活動を実施します。

② 地域住民の参加を含めた各種講習会を開催します。

③ センター活動、互助会活動を通して、地域社会にひらかれたセンターとして交流を図っていきます。

(4) 魅力あるセンター運営

【現状と課題】

シルバー事業の推進にあたっては、センター運営基盤の強化を図

り、関係機関と連携をとりながら適切な運営を行っていくことが重要です。

更に、近年の IT 化への対応や SDGs への取り組みも進めていかなければなりません。

また、専門委員会や職群班の充実を進め、会員の意見を運営に反映させていくことも、より良いセンターづくりに欠かせません。

コロナ感染症による活動自粛期間もあけ、互助会行事への参加者は増えつつありますが、総会や清掃ボランティア活動等への参加者は依然減少傾向です。今後は1人でも多くの会員の参加を目指し、会員のみならず家族や地域住民の参加も進めていくことが求められます。

【施 策】

1. 運営基盤の強化

① 配分金単価・事務費等の見直し

群馬県最低賃金の改正、また消費税のインボイス制度への適切な対応のための適正な見直しを行います。

② 行政機関等との連携強化

桐生市をはじめ、群馬県シルバー人材センター連合会等関係機関との連携を強化し、事業運営にかかる相互の情報交換等により、積極的な事業展開を行います。

③ 理事会・専門委員会の充実

役員への積極的な情報提供や研修会への参加等により役員資質の向上並びに理事会の活性化を図ります。

また、専門委員会活動の見直しを進め、会員の積極的な参画を促します。

④ 事務局体制の強化

ア 財政基盤の強化

事務の効率化並びに経費の節減等コスト意識を高め、財政

基盤の充実を図るとともに、公益社団法人としての的確な事務処理に努めます。

イ ICT化の推進

ネット環境の整備を行い、事務の効率化並びに会員や利用者等の利便性の向上につなげます。

ウ SDGs（持続可能な開発目標）への取り組み

「3 すべての人に健康と福祉を」に向けて、シルバー人材センターとして高齢者の生きがいの充実と福祉の増進、高齢者の社会参加を進めるため、入会促進や就業先の確保、楽しく活動できる場の提供を進めていきます。

エ 見積り業務の標準化

植木・草刈り・除草業務における見積金額算出の標準化を図り、顧客への信頼につなげます。

オ 職員資質の向上

群馬県シルバー人材センター連合会等関係機関の研修会への積極的な参加を行い、業務の知識向上を図ります。

また、センター内において定期的な業務研修を行い、全職員のスキルアップを図るとともに、接遇マナーアップに取り組み、顧客並びに会員対応の充実を進めます。

2. 会員参加の運営

① 専門委員会への参画促進

専門委員会組織の見直しにより、会員が積極的に参画できる委員会活動を目指します。

また、委員会活動での意見等を事業運営へ活かせるよう取り組んでいきます。

② 職群班の充実

安全で効率的な就業に向けて、職群班の充実を進めます。

また、各職群における意見等を事業運営へ活かせるよう取り

組んでいきます。

3. 魅力あるセンターづくり

① センター活動の充実

ア 就業以外に各種講習会や交流サロン等、センター活動の充実を進めます。

イ 会員互助会と連携し、楽しく参加できるイベント等を検討し、会員家族や地域住民の参加を進めます。

② 会員意見の活用

会員から寄せられた意見等の活用を図り、会員満足度を高め、魅力あるセンターを目指します。

R4群馬県シルバー人材センター連合会安全就業スローガン

事故無しは 安全意識の 積み重ね

会員 周藤 素子 さん

【安全心得 安全10か条】

- (1) 作業は、安全第一を心掛け、急いだりあわてたりしないこと。
- (2) 器具類は、使用する前に必ず点検すること。
- (3) 服装・履物は、作業にあった動きやすいものにする事。
- (4) 作業前に、軽い柔軟体操をして体をほぐすこと。
- (5) 加齢による諸機能の低下を十分に認識し、無理をしないこと。
- (6) 共同作業は、合図・連絡を正確に行うこと。
- (7) 作業現場は、常に整理整頓に心掛けること。
- (8) 酒気を帯びての作業は、絶対に慎むこと。
- (9) 健康には常に注意し、健康な状態で就業すること。
- (10) 仕事の前日は、十分睡眠を取るよう心掛けること。